「九州PCカンファレンスin九州大学」の
論文原稿の書式について

‐サブタイトル（がついている場合）‐

CIEC太郎\*1・CIEC次郎\*2・CIEC三郎\*3・CIEC四郎\*4

Email: ciec\_taro@ciec-u.ac.jp

\*1: ○○大学○○学部○○学科

\*2: ○○大学○○学部○○学科

\*3: ○○研究所 ○○開発部

\*4: ○○県立○○高等学校

◎Key Words キーワード1，キーワード2，キーワード3

# はじめに

「九州PCカンファレンスin九州大学」の分科会発表にご応募くださり，ありがとうございます。

論文は2ページまたは4ページにまとめて下さい。

期限を過ぎると白紙にタイトル掲載となりますのでご注意ください。

また，以下の説明に従い，このテンプレートに従って論文の原稿を作成して下さいますよう，お願い致します。

なお，本紙はこの書式に沿って作成してあります。すなわち，このWordファイルには，論文タイトル，章，節，参考文献などそれぞれの書式をスタイルとして設定してありますので，このスタイルやWordのアウトライン機能を利用することで，論文の形式を整えることができます。

# 全体的なこと

## 用紙と余白

必ず，A4の用紙を使って作成して下さい。原稿の余白は， 20mm程度として下さい。その中の範囲を原稿記入範囲とさせていただきます。原稿にはページ番号を振らないで下さい。

## ページ構成

先頭ページの原稿記入範囲の上部より順に，論文タイトル，著者名，連絡先メールアドレス，所属，キーワードの各項目を，1段組で記入してください。

本文は，できるだけ2段組で作成してください。

## 論文

分科会では学生の研究発表や大学生協主催の新入生向けのパソコン講座の事例発表，その他大学での教育への活用内容の発表だけでなく，小中高の先生方の教育へのコンピュータ活用について発表できる分科会を設ける予定です。ICT教育をはじめとする教育や学び全般の実践研究、事例発表を順序立てて明瞭に記述してください。

## タイトル

タイトルは16ポイント，サブタイトルがついている場合は（14ポイント）をセンタリングで記述してください。

筆者名は10ポイントのゴシック体で書き，各著者に文字飾りの上付きにて「＊1，＊2，・・・」を付け，センタリングで記入してください。その下に「＊1:，＊2:，・・・」に続けて各著者の所属を記述してください。なお，差し支えなければ筆者名の並びの下に連絡先となる代表のEmailアドレスを書いてください。

その他，特に指定のない部分のフォントは，日本語は明朝体，ラテン文字・英字・数字はCentury かRomanを推奨します。特殊なフォントの使用は避けてください。文字サイズ（ポイント）は，論文集全体でのバランスを取るために，表1のようにお願いいたします。

|  |
| --- |
| 表1 フォントとポイント |
| 項目 | フォント | ポイント |
| タイトル | ゴシック | 16 |
| （サブタイトル） | ゴシック | 14 |
| 著者名・所属 | ゴシック | 10～11 |
| 各章の見出し | ゴシック | 11 |
| 本文 | 明朝 | 10～11 |
| 参考文献 | 明朝 |  9 |
|  |  |  |

# 書き方

## 本文の書き方

本文は10ポイントのフォントを用い，可能な限り2段組で書いて下さい。各章の見出しは，少し大きめの11ポイントのゴシック，その次のレベルの見出しは10.5ポイントで目立つように書いて下さい。

章立ては「1.はじめに」で始め，適切な章を設け，最後は「○.おわりに」として下さい。なお，「参考文献」も必要に応じて付けて下さい。

## 貼付図表の扱い

表には，該当する表の上に，たとえば，「表2 表の作成」のような表の説明する文章（キャプション）を記述してください。また，図には，該当する図の下に「図1 日本の世帯における情報通信機器の普及」のような写真や図版などを説明する文章（キャプション）を記述して下さい。図表は，原稿中に埋め込んでください。また，表のキャプションは上側中央に（表2），図のキャプションは下側中央に記載してください（図1）。

|  |
| --- |
| 表2 表の作成 |
| 項目 | 説明 |
| 仕上がりサイズ | 左右幅80ミリ以内（1段幅）におさめる。内容によって2段にまたがる必要がある場合は，160ミリ以内におさめる。 |
| 使用フォント | 原則として本文と一致させる。構成上工夫を要する場合は，英数字はArial，Courier，Times，Symbolとし，和文は明朝，ゴシックを推奨。 |
| 罫線 | 罫線の使用は必要最小限にとどめ，最小項目を区切る横罫や，表全体の左端・右端の罫線ははぶく。 |

図1 日本の世帯における情報通信機器の普及率（図版例）

出所：総務省「平成19年通信利用動向調査報告書（世帯編）」（2008.6）

## 参考文献

参考文献は，以下の例を参考にしてください(1)。

* 論文誌・雑誌の場合は著者名，タイトル，雑誌名，巻，号，ページ，発行年
* 書籍の場合は著者名，書名，参照ページ，発行所，発行年

本文中で参考文献(2)に関連する箇所には，このように参考文献の番号を上付きで付与してください。

## 著作権について

採用された論文の著作権（複製権，翻訳・翻案権，公衆送信・伝達権）は 一般社団法人CIECに譲渡していただきます。なお，著作者自身による複製，翻訳・翻案，公衆送信・伝達については，本社団法人は著作者からの申し出がなくてもこれを許諾します。

# 論文原稿の提出方法

　論文原稿をPDFファイルにして下記のE-mailアドレスに送付ください。PDFファイルにはセキュリティ設定をしないでください。また，ファイル名を「発表登録ID番号.pdf」としてください（例 pcc170.pdf）。

2023九州PCカンファレンスin九州大学特設サイト

<https://kyushu.seikyou.ne.jp/pcc2023/>

原稿締切：2023年11月13日(月) 24：00

# その他

論文投稿とは別に参加申込みを行う必要があります。（参加申し込みは9月webで開始予定です）

# おわりに

本稿では「九州PCカンファレンスin九州大学」の論文執筆上の注意について述べました。この論文集に採録された論文は，「九州PCカンファレンスin九州大学」で発表していただきます。

参考文献

1. 著者名1，著者名2，著者名3：“題名”，雑誌名，巻，号，pp.27-38（2003）．
2. 著者名：“書名”，参照ページ，発行所（2006）．